

〔単元の流れと授業展開〕

(総時数 = 7時間)

＜目的意識＞
○対話に対する目的と必要性

＜目的意識＞
○身近な資料活用による目的意識の具体化

＜相手意識＞
○予備的対話による相手を設定した伝え合い

＜方法意識＞
○関わりを強める対話の方法

＜方法意識＞
○課題に基づく新たな方法
＜相手意識＞
○相手に応じた対話の意識化

| 学 習 活 動 ・ 内 容 | 評 価 |
|---|--|
| <p>第1時 対話に対する自分の目標を持つ。</p> <p>○ 学習全体の見通しを持ち、対話についての理解を深める。</p> <p>○ 日常の言語生活を振り返り、学習を通してどんな対話を目指したいか、目標を立てる。</p> | <p>●単元の見通しを持つことができたか。</p> <p>●自分の目標を持つことができたか。</p> <p>(ワークシート)</p> |
| <p>第2時 「資料 (〇〇先生物語)」を読み、登場人物のものの見方や考え方をとらえる。</p> <p>○ 資料の内容に対する自分の考えをまとめる。</p> | <p>●資料の要点を読み取ることができたか。(ワークシート)</p> |
| <p>第3時 自分たちが選択した資料の内容を伝え合う。</p> <p>○ 自分の資料の内容を分かりやすく相手に説明する。(予備的対話)</p> <p>○ 相手の話を引き出すような「聞き方」を工夫する。</p> | <p>●資料の内容を伝え合うことができたか。(観察・相互評価票)</p> |
| <p>第4時 相手と関わり合う対話を行うための構成を考える。</p> <p>○ 相手の発言と関わり合う対話を行うための話の組み立てを考える。</p> <p>○ 相手にわかりやすく紹介したり、相手を引き立てて聞いたりするための話の組み立てを考える。</p> | <p>●分かりやすい話の組み立てを工夫できたか。(発表)</p> |
| <p>第5時 対話を通して、新たな自己課題を見つける。</p> <p>○ お互いの資料 (〇〇先生物語) を話題として対話を行う。(対話1・2)</p> <p>○ 対話を振り返り、相互の課題を見つける。</p> | <p>●効果的な対話について課題を見つけることができたか。</p> <p>(ワークシート) (相互評価票)</p> |